

## 鶴見川では洪水に強い堤防づくりに取りかかっています

河川の水や雨によって、堤防内に水がしみ込み長い時間溜まったままとすると、堤防から水が噴き出し、最悪の場合、破壊につながる恐れがあります。この事より、堤防内にしみ込んだ水をすばやく排水する為の施設（ドレーン工）を設置するなどして、堤防の強化に努めています。

平成21年度は港北区内で4ヶ所合計1,300m、鶴見区内では合計260mの工事を行いました。鶴見川沿いの堤防の斜面が新しい芝で覆われている区間は堤防の強化のために浸透対策工事を行ったところです。

新しく芝になった箇所では、芝の根が十分に根付くまでの間は、雑草を抜いたり、施肥（肥料を与える）を行い手入れをしています。この工程を「養生(ようじょう)」と呼んでいます。養生期間中は芝の中への立ち入りをご遠慮いただいています。通常、芝が根付くまで3年程度かかりますが、箇所毎の芝の生育状況を確認しながら、開放の時期を判断することとしています。開放時期の周知については、それぞれの現地への案内看板を設置したり、京浜河川事務所のホームページで行う予定です。



完成した森永橋下流の堤防



芝の養生作業のようす

【詳細は文末をご覧ください】

---

# 鶴見川の堤防浸透対策工事について

鶴見川沿いの堤防の斜面が新しい芝で覆われている区間は堤防の強化のために浸透対策工事を行ったところです。

工事前



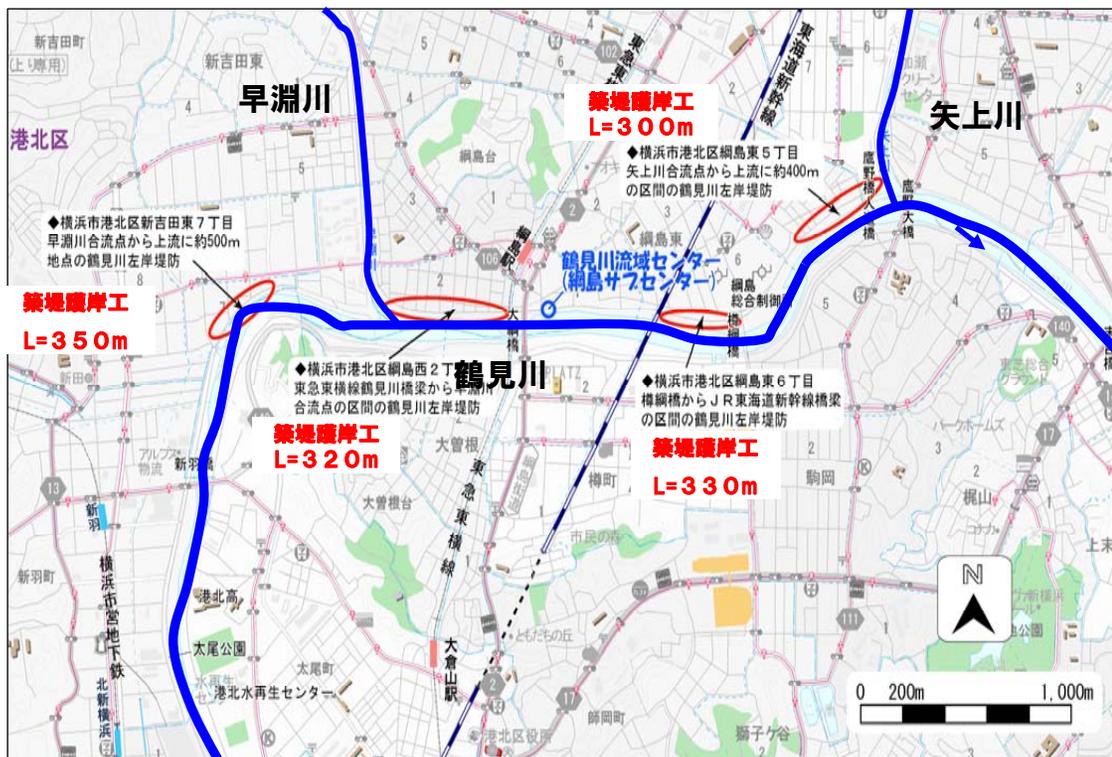
完成後



写真は森永橋下流部付近の堤防

# 鶴見川の堤防浸透対策工事について

平成21年度は港北区内で4ヶ所合計1300m、鶴見区内では合計260mの工事を行いました。



浸透対策工事実施箇所位置図

# 堤防浸透対策工事の仕組み

河川の水や雨によって、堤防内に水がしみ込み長い時間溜まったままとすると、堤防から水が噴き出し、最悪の場合、破壊につながる恐れがあります。この事より、堤防内にしみ込んだ水をすばやく排水する為の施設(ドレーン工)を設置するなどして、堤防の強化に努めています。

## ●浸透による堤防の決壊のしくみ



## 工事の手順

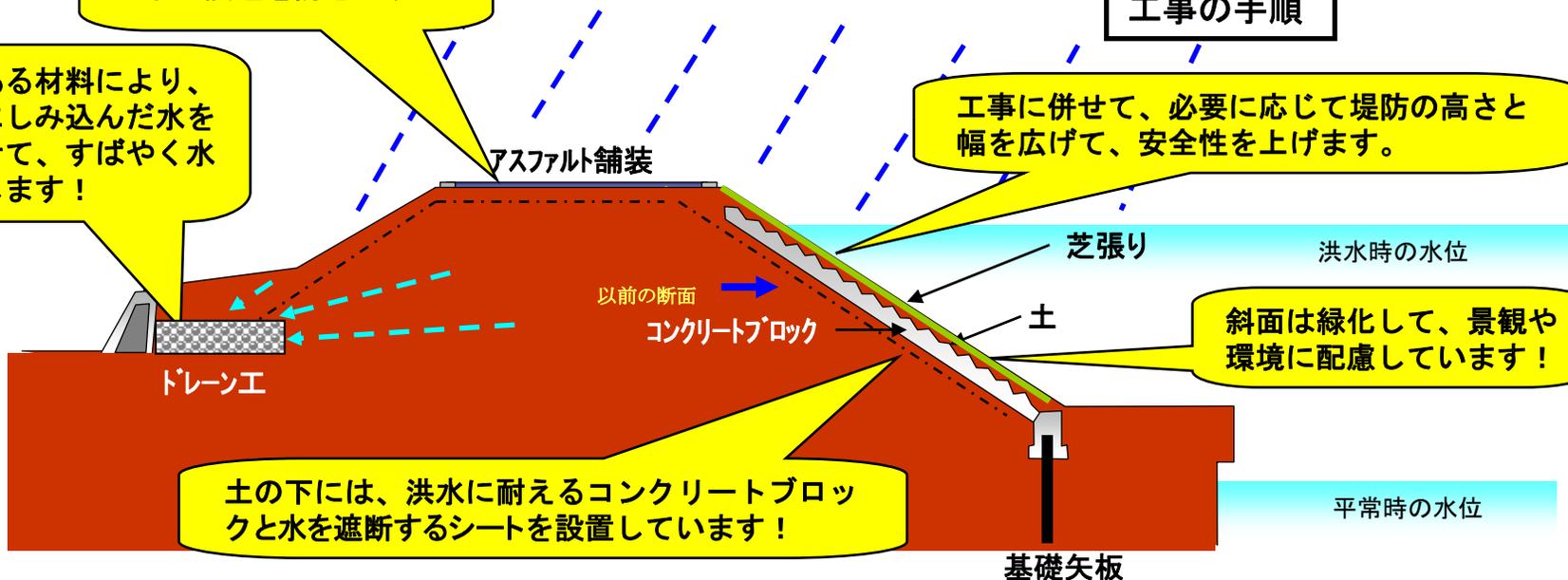
アスファルト舗装により、雨水の浸透を防ぎます！

隙間のある材料により、堤防内にしみ込んだ水を引きよせて、すばやく水を排水します！

工事に併せて、必要に応じて堤防の高さと幅を広げて、安全性を上げます。

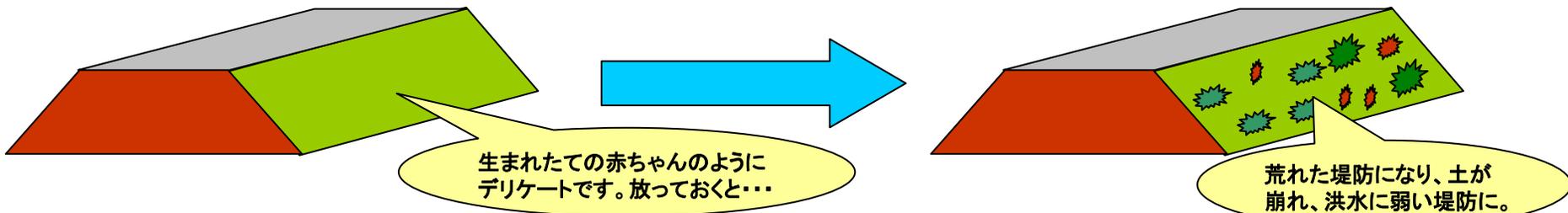
斜面は緑化して、景観や環境に配慮しています！

土の下には、洪水に耐えるコンクリートブロックと水を遮断するシートを設置しています！



# 新しく芝になった堤防斜面のお願い

新しく芝になった箇所では、芝の根が十分に根付くまでの間は、雑草を抜いたり、施肥(肥料を与える)を行い手入れをしています。この工程を「養生(ようじょう)」と呼んでいます。



生えた雑草を抜き取ることにより、芝の成長を促します。



肥料を蒔いて、芝の根の成長を早めます。

養生期間中は芝の中への立ち入りをご遠慮いただいています。通常、芝が根付くまで3年程度かかりますが、箇所毎の芝の生育状況を確認しながら、開放の時期を判断することとしています。開放時期の周知については、それぞれの現地への案内看板を設置したり、京浜河川事務所のホームページで行う予定です。